

「国保坂下病院の存続についての意見書(H28. 7. 25)」回答書

1. 新たに地域住民を含めた中津川市公立病院機能検討委員会を組織し、協議をし直す。

【回答】

- ・中津川市公立病院機能検討委員会は、地域医療構想を踏まえた新公立病院改革プランの作成、第二次中津川市公立病院中長期計画の作成等を行うために設立され、医療情勢、医療機能、病院経営など専門知識に関して精通している者で構成されています。また、地域住民の方を含める場合、あくまでも中津川市全体の住民代表として位置づけられますので、住民全体の意見をまとめていただくことは非常に難しいと考えます。中津川市公立病院機能検討委員会の委員構成は、現状のままで進めさせていただきたいと考えておりますが、中津川市公立病院機能検討委員会の方針や今後の実施計画に対し提言していただけるよう、各地域の区長様等で組織する協議会（名称は未定）の設置について検討していますので、ご理解をお願いいたします。

1. 今後も継続的に各地で地域説明会を開催して、地域住民の意見を聴取し、地域住民が納得できる内容で坂下病院の方向性を出す。

【回答】

- ・山口、坂下、川上地区の説明会やご意見提出用紙により、地域の方から多くのご意見をいただき、報告を受けております。更に8月25日の第6回公立病院機能検討委員会にも報告する予定です。
- ・住民説明会につきましては、やさか地区に続き、区長会連合会や他地区においても9月中に開催できるよう計画しています。今後も地域の皆さまのご意見をお聴きしながら、将来の方向性を検討してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

1. 公立病院機能検討委員会、病院・医療等対策特別委員会、地域説明会などの内容及び経過報告を紙面を含む媒体にて遅滞なく地域住民に周知する。

【回答】

- ・公立病院機能検討委員会等の内容は、ホームページ、広報なかつがわ等で逐次、市民の皆さまへお知らせしていきます。（病院事業部）
- ・病院・医療等対策特別委員会のほか市議会の常任委員会、特別委員会は公開で行われており、録画も含めインターネットで配信しております。また、年4回発行している市議会だよりにも常任委員会、特別委員会の経過を掲載し、広く周知させていただいております。今後、病院・医療等対策特別委員会の経過概要を市議会ホームページにも逐次掲載させていただきたく予定です。（議会事務局）

1. 民間委託などを含め、地域住民の望む医療を提供できる国保坂下病院を存続させる。

【回答】

- ・中津川市公立病院機能検討委員会における協議は継続して行いますが、民間委託などについても、並行して調査・研究を進めるよう指示をしております。

1. 国保坂下病院の医師の確保に最大限の努力をする。

【回答】

- ・最優先の医師確保としては、大学医局人事による継続的な医師派遣が有効であるため、引き続き病院長、副病院長、医局長で各大学を訪問し医師確保に努めます。
- ・定年退職などにより大学の医局に属さない医師や地域出身の医師の情報を収集し、当院で働いていただくよう働きかけていきます。

1. 免震構造である国保坂下病院を大規模災害時に対応できる病院として存続させる。

【回答】

- ・市民病院が被災したり、市民病院で被災者を受けきれない状況となった場合など、坂下病院を利用できることはメリットでもありますので、今後出される市の方針に基づく病院機能を踏まえ、災害時に備えていきます。

1. 健診及び予防医療に現行どおり対応できる病院とする。

【回答】

- ・市の方針決定後、今後の具体的な実施計画を策定する中で、健診及び予防医療も検討項目として取上げていきます。